

「外国人雇用状況」の届出状況(令和5年10月末時点)

1 外国人労働者の状況

労働者全体の状況について

- 外国人労働者数は5,656人。
前年同期比で593人(11.7%)増加。

○ 国籍別の状況

- ・ベトナム 2,071人(全体の36.6%) [前年同期比188人(10.0%)増加]
- ・中国 967人(同 17.1%) [同 108人(10.0%)減少]
- ・インドネシア 684人(同 12.1%) [同 215人(45.8%)増加]

○ 在留資格別の状況

- ・技能実習 2,918人(全体の51.6%) [前年同期比10.7%増加]
- ・専門的・技術的分野 1,109人(同 19.6%) [同 42.0%増加]
- ・身分に基づく在留資格 851人(同 15.0%) [同 0.6%増加]

「技能実習」の構成比は、全国における構成比(20.1%)と比べると高い。

○ 地域別の状況

- ・徳島地域 2,569人(全体の45.4%) [前年同期比16.7%増加]
- ・鳴門地域 1,146人(同 20.3%) [同 3.0%増加]
- ・吉野川地域 664人(同 11.7%) [同 15.1%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・「30人未満事業所」が最も多く、外国人労働者数全体の47.8%を占めている。
- ・「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の36.1%)と比べると高い。

2 事業所の状況

事業所全体の状況について

- ・ 外国人を雇用している事業所は1,230所。
前年同期比で23所(1.9%)増加。

○ 地域別の状況

- ・ 徳島地域 573所(全体の46.6%) [前年同期比4.4%増加]
- ・ 鳴門地域 290所(同23.6%) [同 3.3%減少]
- ・ 吉野川地域 135所(同11.0%) [同 3.8%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・ 「30人未満事業所」が最も多く、事業所全体の66.2%を占めている。
- ・ 「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(61.9%)と比べると高い。

3 産業別の状況

- ・ 外国人労働者が就労している業種を産業別にみると、「製造業」が外国人労働者全体の34.7%を占め、次いで「農業、林業」が13.0%、「医療、福祉」が12.5%となっている。
- ・ 外国人労働者を雇用する事業所数を産業別にみると、「製造業」が20.5%を占め、次いで「農業、林業」が15.4%、「建設業」が12.8%となっている。
- ・ 「製造業」の構成比は全国における構成比(外国人労働者数全体の27.0%、事業所全体の17.2%)と比べると高い。

4 派遣・請負の状況

- ・ 外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負事業を行っている事業所数
53所(事業所全体の4.3%)
- ・ 労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者数
354人(外国人労働者全体の6.3%)